

2023年3月号 創刊700号記念号 第3弾 のお知らせ

サイエンス・フィクション

予告 **別冊付録** トラ技SF小説

■ エピソード①

トランジスタ技術の圧縮

● あらすじ

2022年から開催が中断されていた「トラ技圧縮コンテスト」。2036年に最後の大会開催が決定した。

決勝は、仕上がりが美しいが時間のかかる「アイロン派」と、手順を省略でき速いが仕上がりが見劣りする「耄り派」の戦いとなる。

「アイロン派」の祖である関山の弟子 梶原と、関山の元1番弟子にして「耄り派」の旗手 坂田が、胸の奥底でくすぶり続けていた己の理想の姿を賭けて激突する。

▶ 出典

- 宮内 悠介：「超動く家にて」, 創元SF文庫, pp.9-34, 東京創元社.
- 初出：「アレ!」vol.7(電子雑誌), project allez!, 2012年3月.

←再収録!

新作!→



超動く家にて(東京創元社)

■ [新作]エピソード②

続トランジスタ技術の圧縮 —— 新たなる旅立ち

● あらすじ

最後の大会から2年。坂田が姿を消した。唯一の手がかりは、坂田の数少ない友人の1人 藤沢に言い残した言葉「とんでもない1冊を手に入れた」である。それは「トラ技の赤本」であった。

赤本とは各号1冊しかない原本。年月を経て霊力を増し、現実へと干渉する呪いの力を得ていた。

ページが失われたら、失われたページに記載されていたもの…電子部品などが現実でも失われてしまう。

赤本の呪いの力は、修行を積み聖性を身につけた競技者による圧縮のみ解けるのであった。

赤本の呪いを解くための2人の旅が始まる。

話題のSF小説「トラ技の圧縮」にかける熱き男たちの友情物語

「トランジスタ技術の圧縮」

同時収録

渾身の新作

+

「続トランジスタ技術の圧縮」

—— 新たなる旅立ち

著者：宮内 悠介

「トラ技圧縮コンテスト」—— 雑誌「トランジスタ技術」の広告ページを取り除き、収納しやすいよう薄く圧縮(スリム化)する技術を競う大会のこと。1998年に第1回が開催され、いつときはゴールデンタイムでTV放送されるまでになった。電子書籍の台頭に伴い衰退、2022年を最後に中断されたのだが…

耄り派!

アイロン派!

